

認 定 書

国 住 指 第 2101 号
平成 30 年 10 月 31 日

一般社団法人日本壁装協会
代表理事 安田 正介 様

国土交通大臣 石井 啓



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第 2 条第九号及び同法施行令第 108 条の 2 第一号から第三号まで（不燃材料）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
NM-4842
2. 認定をした構造方法等の名称
塩化ビニル樹脂系フィルム張／基材（不燃材料（金属板を除く））
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

(別添)

1. 材料名

塩化ビニル樹脂系フィルム張／基材（不燃材料（金属板を除く））

2. 形状及び寸法等

項 目	仕 様
形 状	平板
表 面 形 状	(1) ～ (3) のうち、いずれか一仕様又は組合せとする (1) 平滑 (2) 粗面 (3) エンボス
表面化粧材の 厚さ (mm)	5.0 \pm 0.5 以下
表面化粧材の 質量 (g/m ²)	580.0 \pm 58.0 以下

3. 材料構成

項 目	仕 様
表面化粧材	<p>塩化ビニル樹脂系フィルム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 厚さ $5.0_{\pm 0.5}$mm 以下 ・ 質量 $580_{\pm 58.0}$g/m² 以下 (有機質量 $190.0_{\pm 19.0}$g/m² 以下) ・ 構成 <ul style="list-style-type: none"> [1] 表面化粧: (1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> (1) 合成樹脂 <ul style="list-style-type: none"> ・ 質量 $200.0_{\pm 20.0}$g/m² (固形量) 以下 (有機質量 $3.0_{\pm 0.3}$g/m² 以下) ・ 構成 (g/m²) <ul style="list-style-type: none"> 合成樹脂※¹ $3.0_{\pm 0.3}$ 以下 (但し、ポリエステル系を含む場合は $2.7_{\pm 0.3}$ 以下とする) 無機質系充てん材、無機質系顔料※²、無機質系添加剤※³ $0 \sim 100.0_{\pm 10.0}$ (但し、無機質系添加剤※³は $0 \sim 10.0_{\pm 1.0}$ の範囲とする) 金属材※⁴ $0 \sim 97.0_{\pm 9.7}$ (2) なし [2] 主素材: 塩化ビニル樹脂系フィルム <ul style="list-style-type: none"> ・ 厚さ $5.0_{\pm 5.0}$mm 以下 ・ 質量 $250.0_{\pm 25.0}$g/m² 以下 (有機質量※⁵ $144.0_{\pm 14.4}$g/m² 以下) ・ 構成 (g/m²) ※⁶ <ul style="list-style-type: none"> 塩化ビニル系樹脂 $30.0_{\pm 3.0} \sim 126.5_{\pm 12.7}$ 合成樹脂インキ※⁷ $0 \sim 12.0_{\pm 1.2}$ 可塑剤※⁸ $26.1_{\pm 2.6}$ 以下 無機質系充てん材、無機質系顔料※²、無機質系添加剤※³ $0 \sim 106.0_{\pm 10.6}$ (但し、無機質系添加剤※³は $0 \sim 10.6_{\pm 1.1}$ の範囲とする) 金属材※⁴ $0 \sim 106.0_{\pm 10.6}$ 有機質系安定剤※⁹ $4.0_{\pm 0.4}$ 以下 有機質系顔料※¹⁰ $0 \sim 17.6_{\pm 1.8}$ 有機質系添加剤※¹¹ $0 \sim 3.5_{\pm 0.4}$ [3] 粘着層 <ul style="list-style-type: none"> ・ 質量 $130.0_{\pm 13.0}$g/m² (固形量) 以下 (有機質量 $43.0_{\pm 4.3}$g/m² 以下) ・ 構成 (g/m²) ※⁶ <ul style="list-style-type: none"> 合成樹脂※¹ 粘着剤 $40.8_{\pm 4.1}$ 以下 (但し、ポリエステル系を含む場合は $36.0_{\pm 3.6}$ 以下とする) 有機質系顔料※¹⁰ $0 \sim 2.2_{\pm 0.2}$ 無機質系充てん材、無機質系顔料※²、無機質系添加剤※³ $0 \sim 87.0_{\pm 8.7}$ (但し、無機質系添加剤※³は $0 \sim 8.7_{\pm 0.9}$ の範囲とする)

項 目	仕 様
表面化粧材 (つづき)	<p>※1:合成樹脂は、エチレン・酢酸ビニル系、酢酸ビニル系、ウレタン系、アルコキシラン加水分解縮合物系、塩化ビニル系、アクリル系、シリコン系、ポリエステル系、フッ素系、マレイン酸系のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※2:無機質系充填材、無機質系顔料は、酸化チタン、酸化鉄、酸化亜鉛、酸化マグネシウム、酸化スズ、カーボンブラック、マイカ、炭酸カルシウム、タルク、水酸化アルミニウム、水酸化マグネシウム、三酸化アンチモン、硝酸亜鉛、シリカ、珪藻土、アルミニウム、鉬物粒及び鉬物粉のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※3:無機質系添加剤は、シリカ、光触媒酸化チタン、無機質系抗菌剤、無機質系機能性材料のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※4:金属材は、セラミック、アルミニウム、錫、銅、亜鉛、鉄、銀、白金、金のいずれか、又は組合せとし、形状ははく状、糸状、粉状のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※5:有機質量は、加工時に可塑剤、発泡剤等が揮発等により減量するため、配合有機質量とし、配合組成中の有機質を組合せた配合量合計とする。</p> <p>※6:質量及び組成は、加工時に可塑剤、発泡剤等が揮発等により減量するため、配合質量及び配合組成とする。</p> <p>※7:合成樹脂インキは、アクリル系、塩化ビニル系、ウレタン系、ニトロセルロース系、酢酸ビニル系、エチレングリコール系のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※8:可塑剤は、フタル酸系、テレフタル酸系、イソフタル酸系、アジピン酸系、ポリエステル系、DINCH系、エポキシ系、有機りん系、塩素化パラフィン系、トリメリット酸系のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※9:有機質系安定剤は、カルシウム系化合物、マグネシウム系化合物、バリウム系化合物、亜鉛系化合物のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※10:有機質系顔料は、アゾ系顔料、フタロシアニン系顔料、縮合多環系顔料、合成樹脂※1のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※11:有機質系添加剤は、発泡剤(アジジカルホジナミド系、オキシスポンジンスルホニトリラジド系)、防かび剤、有機系機能性材料のいずれか、又は組合せとする。</p>

項 目	仕 様
プライマー (下地処理剤)	<p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) 合成樹脂</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質量 $15.0_{\pm 1.5} \text{g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量 $12.0_{\pm 1.2} \text{g/m}^2$ 以下) ・構成 (g/m^2) : 1) 又は 1) と 2) の組合せとする <div style="border-left: 1px solid black; padding-left: 10px;"> <p>1) 有機質 : ①～⑤のうち、いずれか一仕様又は組合せとする</p> <ul style="list-style-type: none"> ① アクリル系樹脂 $10.0_{\pm 1.0}$ 以下 ② クロロブレン系樹脂 $10.0_{\pm 1.0}$ 以下 ③ ウレタン系樹脂 $10.0_{\pm 1.0}$ 以下 ④ 塩素化ポリプロピレン系樹脂 $10.0_{\pm 1.0}$ 以下 ⑤ ポリスチレン系樹脂 $12.0_{\pm 1.2}$ 以下 <p>(但し、いずれも有機質系添加剤^{※11}を $0 \sim 1.0_{\pm 0.1}$ 含む)</p> <p>2) 無機質</p> <p>無機質系充てん材、無機質系顔料^{※2} $0 \sim 5.0_{\pm 0.5}$</p> </div> <p>(2) なし</p>
基 材	<p>不燃材料 (金属板を除く)</p> <p>平成 12 年の建設省告示第 1400 号に例示されたアルミニウムを除く不燃材料のうち、すでに化粧を施されたもの及び鉄鋼、金属板を除くもの</p>

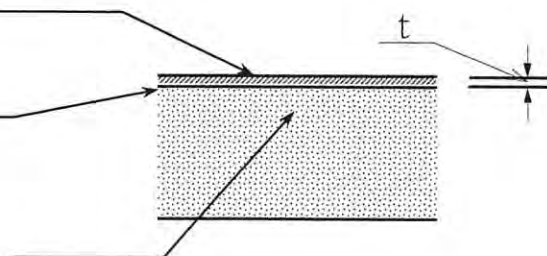
4. 構造説明図

(寸法単位 : mm)

1) 表面化粧材…塩化ビニル樹脂系フィルム

2) プライマー…合成樹脂又はなし

3) 基 材…不燃材料 (金属板を除く) ※



$t = 5.0$ 以下

※平成 12 年建設省告示第 1400 号に例示されたアルミニウムを除く不燃材料のうち、すでに化粧を施されたもの及び鉄鋼、金属板を除くもの